

社団法人日本アレルギー学会
平成21年度 事業報告書
(平成21年4月1日より平成22年3月31日まで)

I. 会員の異動状況

1) 正会員

平成21年3月31日現在	9,774名
平成22年3月31日現在	9,861名
増減数	87名(増)
内訳 新入会員	508名
除退会員	411名
物故会員	10名

社員(理事・監事・代議員)	
平成21年3月31日現在	理事20名 監事3名 代議員348名
平成22年3月31日現在	理事20名 監事3名 代議員349名
増減数	0名 0名 1名 (改選350名から減)

2) 名誉会員	平成21年3月31日現在	38名	(内 国際名誉会員 2名)
	平成22年3月31日現在	40名	(内 国際名誉会員 2名)
	増減数	2名	(4名追加 - 2名逝去)

3) 賛助会員	平成21年3月31日現在	40社	
	平成22年3月31日現在	35社	
	増減数	5社(減)	

II. 事業の状況

1. 学術大会、講演会等の開催(定款 第4条 第1号)

(1)学術大会

1)第21回日本アレルギー学会春季臨床大会

会期:平成21年6月4日~6月6日

会場:長良川国際会議場、岐阜都ホテル(岐阜)

参加者数 2,682名

特別演題 150題、応募演題 357題(ミニシンポジウム 123、一般演題 234)

(アレルギー 58巻3・4号に要旨掲載)

2)第59回日本アレルギー学会秋季学術大会

会期:平成21年10月29日~31日

会場:秋田キャッスルホテル、秋田ビューホテル、アトリオン(秋田)

参加者数 2,993名

特別演題 266題、応募演題 531題(ミニシンポジウム)

(アレルギー 58巻8・9号に要旨掲載)

(2) 専門医教育セミナー

- 1) 第 35 回 平成21年6月 6日 場所 長良川国際会議場 (岐阜) 参加者 261 名
- 2) 第 36 回 平成21年8月30日 場所 総評会館 (東京) 参加者 236 名

2. 学会誌その他の刊行物の発行 (定款 第 4 条 第 2 号)

- 1) 和文誌「アレルギー」58巻3・4号、5～7号、8・9号、10～12号、59巻1～2号 10冊 発行
発行日 毎月 30 日 (2 月は 28 日)
発行部数 58巻3・4号、58巻8・9号 (合併号) 冊子 約11,000部 及び オンラインジャーナル
58巻5号～59巻2号 (通常号) 冊子 約 9,900部 及び オンラインジャーナル
- 2) 英文誌「Allergology International」 第58巻2～4号、59巻1号 4冊 発行
発行日 6、9、12、3月 各 1 日 (オンラインジャーナル; In Press 毎月更新)
発行部数 58巻2～4号 冊子 約9,600部 及び オンラインジャーナル
59巻1号 冊子 約1,500部 (希望者のみ配本) 及び オンラインジャーナル
- 3) 「喘息予防・管理ガイドライン 2009」 平成 21 年 10 月 29 日 刊行
- 4) 「アトピー性皮膚炎診療ガイドライン 2009」 平成 21 年 10 月 29 日 刊行

3. 専門医、指導医、教育施設等の認定 (定款 第 4 条 第 3 号)

1) 専門医の認定

- 今年度専門医申請者 149 名
平成 21 年 12 月 8 日 資格審査委員会にて書類審査 受験有資格者 149 名
平成 22 年 1 月 31 日 資格認定試験 受験者 148 名 欠席 1 名
平成 22 年 3 月 5 日 資格判定会議 (専門医制度合同委員会)
合格者 141 名を専門医に認定。(合格率 95.3%、平均点 80.2 点)

2) 指導医の認定

- 今年度指導医申請者 33 名について、資格審査委員会にて随時審査。
平成 21 年度指導医 31 名、平成 22 年度指導医 2 名を認定。

3) 認定教育施設の認定

- 今年度申請施設 49 施設について、資格審査委員会にて随時審査。
平成 21 年度認定教育施設 28 施設(科)、準認定施設 15 施設(科)を認定。
平成 22 年度認定教育施設 5 施設(科)、準認定施設 1 施設(科)を認定。

4) 専門医の更新認定

- 今年度専門医更新対象者 531 名、申請者 403 名。指導医からの更新 19 名
平成 22 年 3 月 5 日 資格判定会議(専門医制度合同委員会) 合格者 422 名を認定。

5) 指導医の更新認定

- 今年度指導医更新対象者 178 名、申請者 149 名。
平成 22 年 3 月 5 日 資格判定会議(専門医制度合同委員会) 合格者 149 名を認定。

6) 認定教育施設の更新認定

- 今年度教育施設更新対象 116 施設(科)、申請 102 施設(科)。
平成 22 年 3 月 5 日 資格判定会議(専門医制度合同委員会) 合格 102 施設(科)を認定。

7) 認定医の更新認定

- 今年度認定医更新対象者 4 名、申請者は 1 名。専門医からの更新 3 名
平成 22 年 3 月 5 日 資格判定会議(専門医制度合同委員会) 合格者 4 名を認定。

4. 研究の奨励及び研究業績の表彰 (定款 第 4 条 第 4 号)

- 第 6 回日本アレルギー学会学術大会賞の募集、選考。
平成 21 年度本学会学術大会 (第 21 回春季大会、第 59 回秋季大会) で発表の研究業績を

対象として学会誌にて公募、応募 6 名について、平成 22 年 3 月 26 日学術賞選考委員会にて受賞者の選考を行い、下記 2 名の受賞を決定した。

〔受賞者〕五十音順

白石裕士「細胞外マトリックスタンパク質ペリオスチンを標的としたアトピー性皮膚炎の治療の試み」

松本久子「遷延性・慢性咳嗽患者の咳嗽誘発因子と病態との関係」

5. 関連学術団体との連絡及び協力（定款 第 4 条 第 5 号）

- 1) (財)日本アレルギー協会との協力：第 21 回春季臨床大会、第 59 回秋季学術大会 共催。同協会主催「アレルギー週間」（平成 22 年 2 月 17 日～ 23 日）を後援、アレルギー週間中央講演会（2 月 20 日）共催、「アレルギー研修会」（2 地区）後援。
- 2) (社)日本専門医制評価・認定機構：我が国の専門医制度の全体構築に向けての制度整備に関する活動に参加。機構の制度調査・ヒアリング等に協力、評価を分析・検討し、専門医制度関連学会、基本領域学会との連携、協力を図った。
- 3) 内科系学会社会保険連合：呼吸器・小児・検査関連委員会に委員参加。平成 22 年度診療報酬改定への医療技術評価提案書の提出においてヒアリング等に協力、関連学会とも連携して改善提案を行った。
- 4) 日本医学会：評議員会、臨床部会、医学用語委員会等に委員派遣、各種情報の交換を行った。
- 5) 日本学術会議：各種調査に協力、提供される各種情報について適宜周知を図った。
- 6) 日本医師会：女性医師支援事業に参加。秋季学術大会において、「女性医師支援の現状と仮題」と題する講演・討論会を医師会と共催した。内容は学会誌に掲載、当問題に対する啓発を行った。
- 7) 診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業：協力関係学会として、統括責任者を連絡会議等に派遣。今年度で終了予定であったが、事業の実施主体を内科学会から関係学会協議会に変更し 2 年継続の予定。
- 8) 大学評価学位授与機構：評価担当の専門委員候補者の推薦について報告を受けた。

6. 国際的な研究協力の推進（定款 第 4 条 第 6 号）

1) World Allergy Organization(WAO)との活動

XXI World Allergy Congress (WAC) 2009 (6-10 December 2009, Buenos Aires, Argentina) において日本アレルギー学会が主催する JSA Sister Society Symposium を開催、国際交流委員長、同委員が座長を務め、4 名の演者を派遣、好評裡に終了した。

Member Society Village にて JSA ブースを設置、英文誌の広報活動を行った。

WAC2009 での会議にて、次期 President に Pawankar 国際交流委員長が選任された。

WAO Board of Directors, 各種 Committee・Council に本会メンバーが参加、WAO の活動に積極的に参加している。

定期的に提供される WAO News(医学文献のレビュー等)の日本語版作成、調査への協力等、WAO との協力事業を実施している。

2) Asia Pacific Association of Allergy, Asthma & Clinical Immunology(APAAACI)との活動

APAAACI の Treasurer には本学会代議員が就任、会計に協力している。

APCAACI2010(The 8th Asia Pacific Congress of Allergy, Asthma & Clinical Immunology : 6-9 Nov 2010, Singapore) に代表者を派遣予定。

3) Korea Academy of Asthma, Allergy & Clinical Immunology(KAAACI)との活動

第 59 回秋季学術大会において日韓合同シンポジウム 2009 を開催 (2009 年 10 月 30 日、秋田)、同日両国代表者による Business Meeting を開催し、日韓合同シンポジウムの評価と今後の開催等について協議した。

日韓合同シンポジウム 2010 (KAAACI の年次大会、2010 年 5 月 28 日・29 日、ソウル) への講演者推薦、若手会員の一般演題募集を行った。

4) GARD(Global Alliance of Respiratory Disease) : WHO 傘下の標記団体の国際的活動へ参加した。

5) 国際シンポジウム開催

第 59 回秋季学術大会において、アレルギーのメカニズム、特に好酸球・炎症細胞に焦点をあてた International Symposium を 1 日通しで開催、会員の啓発・国際交流を図った。

7. 一般への普及啓発活動 (定款 第 4 条 第 7 号)

1) 市民公開講座開催

日時 平成 21 年 6 月 6 日 (土) 13:30 ~ 15:30

会場 岐阜都ホテル 「輝」 (岐阜)

テーマ アレルギー・喘息を克服するために

参加者 198 名

2) 市民公開講座開催

日時 平成 21 年 11 月 1 日 (日) 13:00 ~ 16:00

会場 アトリオン 「音楽ホール」 (秋田)

テーマ みんなでともに考えよう! アレルギー対策!

— 知っておきたい予防・自己管理・治療 —

参加者 350 名

3) 学会 Web サイトの一般向けコンテンツ

- ・アレルギーに関する用語やアレルギーの解説、病気についての解説・Q&A 等の掲載
- ・本学会専門医の検索サイト掲載 (都道府県、専門、氏名、病院名で検索)
- ・関連機関からの一般市民向けの公開講座、患者会からの情報等掲載

8. その他目的を達成するために必要な事業 (定款 第 4 条 第 8 号)

- ・アレルギーの標準化整備事業を推進。公募にて決定した協力企業と連携で、診断と治療のための抗原の開発、免疫療法の啓発・普及に取り組んでいる。

III. 会議等

理事会・総会

1. 第12回常務理事会

日時 平成 21 年 6 月 3 日 14:00 ~ 15:20

場所 岐阜グランドホテル

出席 理事長、常務理事 4 名

議事 1. 理事会審議議事の事前協議

2. 支出超過の会計について財政の健全化への対策協議

2. 第13回理事会

日時 平成 21 年 6 月 3 日 16:30 ～ 17:50

場所 岐阜グランドホテル

出席 理事 20 名（委任状 3 名含）

- 議事
- 1.平成 20 年度事業報告、第 58 回秋季大会事業報告（承認・可決）
 - 2.平成 20 年度収支報告（承認・可決）
財政に関する対策検討
 - 3.第 61 回秋季学術大会(2011)、第 24 回春季臨床大会(2012)会長候補者推薦（承認・可決）
 - 4.次期役員(理事・監事)の選任並びに次点者確定（承認・可決）
 - 5.次期代議員の確定並びに選挙代議員欠員の補充および次点者の確定（承認・可決）
 - 6.各種委員会委員の改選（承認・可決）
 - 7.名誉会員・功労会員の推薦（承認・可決）
 - 8.会員の動態ならびに会員資格喪失者（承認・可決）
 - 9.事務所移転並びにそれに伴う定款変更（承認・可決）
 - 10.第 5 回学術大会賞受賞者決定（承認・可決）
 - 11.専門医制度規程の一部改定（承認・可決）
 - 12.AI 編集委員会からの議案（筆頭著者の会員規定変更、委員増員）（承認・可決）
 - 13.新法人への移行認定申請に関する現状（報告）

3. 第 29 期理事内定者会議（第 2 回）

日時 平成 21 年 6 月 3 日 18:00 ～ 18:50

場所 岐阜グランドホテル

出席 29 期理事 20 名（委任状 1 名含）

- 議事
- 1.理事長の選出（内定）
 - 2.29 期理事会組織編成（常務理事および担当業務）（検討）
 - 3.顧問委嘱（内定）
 - 4.各種委員会組織編成（内定）
 - 5.28 期理事会からの懸案事項（討議）

4. 第 8 回通常総会

日時 平成 21 年 6 月 4 日 19:00 ～ 21:00

場所 岐阜都ホテル

出席 社員 328 名（委任状出席 174 名含） 陪席 25 名

- 議事
- 第 5 回日本アレルギー学会学術大会賞授与式
- 1.平成 20 年度事業報告、第 58 回秋季大会事業報告（承認・可決）
 - 2.平成 20 年度収支報告（承認・可決）
 - 3.第 61 回秋季学術大会会長の選出（承認・決定） 羅 智靖（日本大学）
 - 4.第 24 回春季臨床大会会長の選出（承認・決定） 片山一朗（大阪大学）
 - 5.次期役員(理事・監事)の選任並びに次点者の決定（承認・可決）
次期理事長選出の報告 第 29 期理事長：秋山一男(国立病院機構相模原病院)
 - 6.次期代議員の確定、ならびに選挙代議員欠員の補充および次点者の確定（承認）
 - 7.各種委員会委員の改選（承認）
 - 8.功労会員の推薦（承認・可決） 23 名
 - 9.名誉会員の推薦（承認・可決） 4 名
 - 10.事務所移転並びに定款変更（承認・可決）

- 11. 専門医制度規程の一部改定（承認・可決）
- 12. 会員資格喪失者（承認・可決） 41名
- 13. 新法人への移行認定の申請について（確認） 他

5. 第13回常務理事会

- 日時 平成21年7月17日 17:30～19:30
- 場所 日本アレルギー学会事務所
- 出席 理事長、常務理事4名
- 議事
 - 1. 第29期理事会組織の確認
 - 2. 英文誌出版形態に関する協議
 - 3. 日本免疫学会からの「免疫学研究・教育に関する提言」の3学会共同提案の検討
 - 4. 第60回秋季学術大会記念行事について協議
 - 5. 日本医師会からの「平成21年度女子医学生、研修医をサポートするための会」共同開催要請の受諾
 - 6. 日韓シンポジウムの企画承認
 - 7. 平成22年度予算編成に関する基本方針の承認
 - 8. 気管支喘息患者の生命保険に関する周知の承認
 - 9. 学会Webサイト更新システム導入の承認

6. 第14回理事会

- 日時 平成21年8月26日 16:00～18:00
- 場所 日本アレルギー学会事務所
- 出席 理事20名（委任状5名含）
- 議事
 - 上記常務理事会からの報告
 - 1. 平成21年度補正予算案（承認）
 - 2. 学会財政の現状と再建策検討：会費値上げ提案（承認）
 - 3. 平成22年度予算案（承認）
 - 4. 第62回秋季学術大会会長候補者検討（承認）
 - 5. 第59回秋季学術大会、第22回春季臨床大会準備状況（報告）
春季臨床大会専門医研修プログラムの専門医制度認定について（報告）
 - 6. 専門医制度施行細則「女性指導医、専門医の資格更新に関する救済措置」内規案（承認）
 - 7. 専門医制度「集中研修」（相模原臨床アレルギーセミナー）に対する支援継続（承認）
 - 8. 学術大会委員会からの演題募集における抄録記載要件の提案（承認）

7. 第14回常務理事会

- 日時 平成21年10月28日 14:30～16:20
- 場所 秋田キャッスルホテル
- 出席 理事長、常務理事5名
- 議事
 - 1. 定例常務理事会の設置（隔月：偶数月 第2金曜日 15:00～18:00 並びに学術大会時）
 - 2. 新法人への移行に関する協議
 - 3. 学術大会開催に関わる不測の事態に対する協議
 - 4. 第60回秋季学術大会記念行事について協議
 - 5. 理事会議事の事前協議

8. 第15回理事会

- 日時 平成21年10月28日 16:30～18:30
- 場所 秋田キャッスルホテル
- 出席 理事20名（委任状1名含）
- 議事
 - 1. 平成21年度補正予算案（承認・可決）
 - 2. 会費の改定並びに会費規程改定案（承認・可決）
 - 3. 平成22年度事業計画案（承認・可決）
 - 4. 平成22年度予算案（承認・可決）

- 5.新法人への移行に関する方針（協議）
- 6.専門医制度規程業績単位（別表1）改定案（承認・可決）
- 7.第30期役員及び代議員選挙「選挙管理委員会」設置（承認・可決）
- 8.第21回日本アレルギー学会春季臨床大会事業報告（承認）
- 9.第62回秋季学術大会会長候補者の所信表明 他

9. 第9回通常総会

- 日時 平成21年10月29日 19:20～21:00
 場所 秋田キャッスルホテル
 出席 社員311名（委任状出席126名含） 陪席22名
 議事
- 1.平成21年度補正予算案（承認・可決）
 - 2.会費の改定並びに会費規程改定案（承認・可決）
 - 3.平成22年度事業計画案（承認・可決）
 - 4.平成22年度予算案（承認・可決）
 - 5.第62回秋季学術大会会長の選任（承認・決定） 東田有智（近畿大学）
 - 6.新法人への移行に関する理事会方針の説明（承認）
 - 7.専門医制度施行細則「女性指導医および女性専門医の資格更新済措置に関する内規」制定（承認・可決）
 - 8.専門医制度規程業績単位（別表1）改定案（承認・可決）
 - 9.第30期役員及び代議員選挙「選挙管理委員会」設置（承認・可決）
 - 10.第21回日本アレルギー学会春季臨床大会事業報告（承認）他

10. 第15回常務理事会

- 日時 平成21年12月18日 15:30～17:30
 場所 日本アレルギー学会事務所
 出席 理事長、常務理事5名、顧問1名
 議事
- 1.日韓ビジネスミーティングの報告
 - 2.新法人への移行について：方向性協議
 - 3.学術大会開催に関わる不測の事態への本学会方針検討
 - 4.第60回秋季学術大会記念行事について協議（学会主催）
 - 5.各種委員会の在り方について協議
 - 6.選挙期間の在り方について協議
 - 7.会計年度の時期について協議
 - 8.平成21年度中間監査結果について協議（独立監査人監査、監事監査）
 - 9.事務局職員給与の見直しについて承認
 - 10.ぜん息映画制作に関する後援依頼について：不許可
 - 11.第22回春季臨床大会に関する協議
 - 12.アレルギー患者電話相談センター業務について協議

11. 第16回常務理事会

- 日時 平成22年2月12日 16:00～18:00
 場所 日本アレルギー学会事務所
 出席 理事長、常務理事4名
 議事
- 1.WAC2009参加報告（JSA Sister Society Symposium 講演概要）
 - 2.WAO会費について協議
 - 3.内科系14学会による「臨床研究の利益相反(COI)共通指針」採択および今後の方針について協議
 - 4.日本専門医制評価・認定機構の専門医制度整備指針に関する報告と今後の施策協議
 - 5.学会支援の基準確認（共催、後援等）

6. 学術大会の在り方に関する合意（第4回総会承認）の一部修正について承認
7. 事務局職員就業規則等の見直しについて承認
8. 厚生労働省への要望書提出に関する報告 他

12. 第16回理事会

日時 平成22年3月16日 15:00～17:00

場所 日本アレルギー学会事務所

出席 理事17名(書面表決9名含)、顧問1名

- 議事
1. 第25回春季臨床大会会長立候補者について（確認）
 2. 事務局職員就業規則、給与規程等の改正案について（承認・可決）
 3. 2010年第30期代議員・役員選挙について（確認）
 4. 功労会員候補者の確認（推薦委員会へ諮問）
 5. 学術大会の在り方に関する合意(第4回総会承認)の一部修正案（承認・可決）
 6. 第23回春季臨床大会における総会について
 7. 学術大会委員会からの提言（学会場における撮影、録音の禁止）（承認・可決）
 8. 専門医制度規程業績単位表の一部改定案（承認・可決）
 9. 第22回春季臨床大会企画（最終報告）

各種委員会

○委員長会議（平成21年6月3日）

各委員会活動の連携を図り、学会運営を円滑に進めるための協議委員会。理事長を議長として、7つの常置委員会、15の附置委員会、5つの専門部会の委員長、担当理事が出席、各委員会の活動状況、検討課題が協議された。（以下各委員会報告参照）

○和文誌「アレルギー」編集委員会（平成21年6月4日、10月29日、メール審議4回）

学術情報誌として内容の充実を図り、読者を意識した誌面作りを目指している。（「専門医のためのアレルギー学講座」1テーマについて半年掲載（毎号）、「ガイドラインのワンポイント解説」年4編、「アレルギー実践講座」年6編、「私のアレルギー史」年4編）

論文審査の効率化、迅速化を図るため、投稿は全て電子データで提出、審査過程はEメールで行っている。

58巻6号より製本工程や紙質の改定、また送付方法の見直しを実施し、大幅な経費削減を図った。

○英文誌「Allergology Intenational」編集委員会（平成21年6月5日、8月5日、10月21日、10月30日）

インパクトファクター取得のためトムソン・ロイターへJCR登録を申請。

一方、SCImagoによるJournal Citation Ranking 2008では、A Iは飛躍的な伸びを示した。

前年度のオンライン投稿査読システムの導入により査読プロセスの効率化が実現し、また、のオンラインジャーナルを主体とする方向に転換、経費のスリム化を図った。

○出版物刊行委員会

日本医学会分科会として「医学用語辞典」のWeb版利用について会員に周知を図った。

○長期計画委員会（平成21年10月29日、平成22年1月メール審議）

長期展望に立った学会の在り方について検討。会員の拡大、基礎ならびに臨床アレルギー学の進歩、学術大会プログラム、専門医等について、会員の意向も調査の上、検討を行う予定。

- 広報委員会（広報・啓発合同会議：6月5日、広報・Web編集・啓発合同会議10月30日、Web編集：平成22年2月5日）
 会員登録・管理システム：平成21年4月に新システム移行、順調に稼働。
 学会Web Siteを平成22年3月にリニューアル：カテゴリーを分かりやすく、またデザイン面でシンプルにし、利用者が負担なくコンタクトできることをコンセプトとした。
 運用面では、CMS方式により、学会事務局において適宜必要な情報を更新できるようになった。
- 総務委員会（平成21年5月、9月 メール審議）
 平成20年度事業報告書案、平成22年度事業計画書案の検討。
- 財務委員会（平成21年5月、7月、8月、10月 メール審議）
 平成20年度決算書作成、財政再建策、平成21年度補正予算案、平成22年度予算案の検討。
- 定款・細則検討委員会（5月 メール審議）
 事務所移転に伴う定款の一部改定案承認。
- 推薦委員会（4月 メール審議）
 平成21年度名誉会員・功労会員の推薦について検討、名誉会員4名、功労会員23名を理事会に推薦した。外部賞の会員告知、学会推薦候補者の検討を行った。
- 倫理委員会（平成21年6月6日、10月31日）
 日本アレルギー学会倫理綱領周知と、綱領を遵守した学会活動の推進。
 内科系関連14学会COI共通指針について検討。
- 専門医制度関係
 - *専門医制度委員会（倫理規定検討WG会議：平成21年4月1日、制度委員会：6月4日、制度・教育研修合同委員会：10月16日、5月、8月メール審議）
 専門医制度委員の倫理に関する倫理規程の追加、女性専門医の出産・育児に関連する特別措置制定。春季大会における専門医研修プログラムの単位認定。
 - *教育研修委員会（平成21年5月21日、平成22年1月19日）
 第35、36回日本アレルギー学会専門医教育セミナー実施、第37、38回専門医セミナー立案。専門医制度研修対象とする研究会の認定、学会主催研修会の単位登録、情報の公開。
 - *試験問題作成委員会（平成21年7月6日、11月1日）
 平成22年専門医試験問題の作成。平成22年1月31日専門医試験実施。試験結果の解析・検討等。
 - *資格審査委員会（平成21年12月8日）
 平成22年専門医申請者の受験資格審査。
 - ・資格判定会議（専門医制度・資格審査・試験問題合同委員会）（平成22年3月5日）
 平成22年専門医、指導医、認定教育施設の新規認定および更新認定の可否判定。
- 国際交流委員会（平成21年10月29日）
 - ・日韓合同シンポジウム2009、日韓ビジネスミーティング開催。
 - ・XXI World Allergy Congress(WAC)2009（6-10December 2009,Buenos Aires, Argentina）
 JSA Sister Society Symposium 開催（Dec.8）
 Member Society VillageにてJSAブースを設置
 WAO Newsの翻訳Web掲載、GARDへの参加、他。WAO(World Allergy Organization)、EAACI(European Academy of Allergology and Clinical Immunology)、APAAACI(Asia Pacific Association of Allergy, Asthma & Clinical Immunology)、KAAACI(Korea Academy of Asthma, Allergy & Clinical Immunology)等、海外のアレルギー学会との交流を図っている。

○研究推進委員会

アレルギーと免疫療法専門部会(平成 21 年 6 月 5 日、10 月 29 日)

アレルギー学会として第一に取り組むべき研究課題として「アレルギーと免疫療法」を選択し専門部会を設置、アレルギーの標準化整備、免疫療法の啓発・普及について、協力企業を公募、企業との連携によるスギの舌下免疫療法の薬剤開発に着手、4 年後承認を目指す。同時にダニ抗原開発についても開発を推進する。

○学術大会委員会(平成 21 年 6 月 6 日、7 月 30 日、10 月 29 日、平成 22 年 1 月 29 日)

春、秋の各学術大会プログラム編成等について会長に提言、学術大会を総括的に補佐。

○学術賞選考委員会(平成 22 年 3 月 26 日)

第 6 回学術大会賞応募者の選考を行い、受賞者 2 名を選定した。

現在の研究発表は論文投稿が優先する状況を踏まえ、受賞論文の投稿は原著に限定せず、綜説でも可とすることとし、細則を改定。

○アレルギー疾患ガイドライン委員会(平成 21 年 6 月 5 日、8 月 28 日、10 月 31 日)

「アレルギー疾患診断・治療ガイドライン」改訂の基盤となる、各疾患別ガイドライン改訂を確認。

*喘息ガイドライン専門部会(平成 21 年 4 月 28 日、6 月 6 日、9 月 21 日、12 月 5 日)

「喘息予防・管理ガイドライン 2009」平成 21 年 10 月 29 日発刊。

*アトピー性皮膚炎ガイドライン専門部会(平成 21 年 6 月 6 日、8 月 21 日)

「アトピー性皮膚炎診療ガイドライン 2009」平成 21 年 10 月 29 日発刊。

*アレルギー性鼻炎ガイドライン専門部会

「鼻アレルギー診療ガイドライン 2009」改訂第 5 版は平成 20 年 11 月に発刊。

○医療問題検討委員会(平成 21 年 6 月 5 日)

厚生労働省「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業」に協力、地区責任者、立会医、評価医を登録。本学会への依頼は未だ零であるが、この事業は更に 2 年継続の予定。

*診療報酬検討専門部会(平成 21 年 6 月 4 日、10 月 30 日)

内科系学会社会保険連合の活動に参加。

平成 22 年度診療報酬改定に対し、7 項目の医療技術評価提案書を提出、内保連・厚生労働省のヒアリングを受け、1 項目の要望が認められた。

○選挙管理委員会(平成 22 年 1 月 15 日)

平成 23 年 5 月で任期満了となる代議員、役員(理事・監事)の選挙日程を決定、学会誌、Web にて選挙公示(第 30 期社員選挙)。

○新法人への移行

役員協議(平成 21 年 4 月 20 日、9 月 24 日、29 日)

拡大定款・細則検討委員会(平成 21 年 5 月 29 日)

第 15 回理事会(平成 21 年 10 月 28 日)、第 9 回通常総会(平成 21 年 10 月 29 日)

新公益法人制度への対応については、これまで公益社団法人として認定を受けるべく

定款変更等種々準備を進めてきたが、制度の詳細がより明らかになってきたことにより、

公益社団法人に移行するメリットが少ないこと、また看過できないリスクの存在もある

ことから、平成 21 年 10 月の総会において一旦白紙とし、改めて公益社団法人か、一般

社団法人かを判断することとした。